

て開催されました。

開会式は野林副会長の挨拶に続き、高石審判長の説示があり、コロナ禍における暫定的な審判法について八段の木島先生から説明がありました。午前中は六地区対抗剣道大会が行われ、熱戦が続きました。三チームのリーグ戦で勝ち上がった一位のチームで優勝決定戦を、二位のチームで三位決定戦が行われました。優勝戦は岐阜地区と西濃地区の対戦となり勝者数は三対二でしたが、取得本数は同数という接戦で岐阜地区が優勝となり、中濃地区が五対二で三位となりました。全勝賞には栗山大輝（西濃）、猪俣ひかり（中濃）、石垣徳久（飛驒）、古田陽和（岐阜）、後藤弓江（中濃）の各選手が表彰を受けました。

午後は東西対抗剣道大会がおこなわれ、公開演技こそありませんでしたが、コロナ禍以前と同様に試合が行われたことは嬉しい限りでありました。そして東軍の古田則文監督、西軍の河瀬俊夫監督のもと十七名の選手により試合が展開されました。

過去の対戦成績は、東軍二十二勝、西軍二十二勝と全く互角の成績で今年度の勝敗が注目となりました。

結果は東軍の四勝、西軍の九勝で西軍の勝利となりました。大会終了後の閉会式に於いて、優秀賞として東軍の青豆浩子選手（飛驒）、清水浩樹選手（可茂）、西軍の金子宜樹選手（岐阜）、宮崎友秀選手（大垣）、松尾祐治選手（大垣）が表彰されました。いずれの選手も素晴らしい面でも勝負を決められ、観戦者の称賛を受けられたのが印象的でありました。

コロナ禍に於いていろんな制限を余儀なくされる中、地道に稽古に励まれてきた結果が出たような気がします。熱気ある試合を展開された選手の皆さんに敬意を表する次第です。

また、本大会の開催担当地区といたしまして関係者の皆様のご協力により、無事終了出来ましたこと感謝を申し上げます。

六地区対抗決勝戦の結果

先鋒	石原 由大	一ノコ	栗山 大輝
次鋒	古田 陽和	メ	小池 真尋
五将	増田 育海	メ	高木 薫樹
中堅	渡邊 聖子	メ	今井 由依
三将	野村 亮太	一ノコ	渕野 純平
副将	足立 佳恵	一ノコ	加藤 尚美
大将	藤村 高平	メ	北島 康隆

東西対抗戦の結果

監督	吉田 則文	河瀬 俊夫	
先鋒	岩崎つばさ	一ノコ	山北 麻未
次鋒	青豆 浩子	メ	高木 眞理子
15将	荒垣 雅行	メ	渡邊 貴佳
14将	藤井 秀人	一ノコ	金子 宜樹
13将	野中 聖司	メ	白川 順一
12将	齋藤 慎哉	一ノコ	高木 和哉
11将	藤井 秀人	メ	佐藤 尚也
10将	清水 浩樹	メ	清水 美貴
中堅	兼松 雅人	一ノコ	安藤 貴治
8将	小椋 達彦	一ノコ	宮崎 友秀
7将	喜多村 昇	メ	北原 明尚
6将	多治見 修	メ	菱田 秀樹



六地区対抗優勝の岐阜地区

5将	柴田 泰則	一ノコ	松尾 祐治
4将	岩木 克也	メ	竹中 和春
3将	加藤 信彦	一ノコ	金武 政明
副将	日置 友明	メ	藤原 隆行
大将	水田 三千夫	一ノコ	原 廣吉



東西対抗優勝の西軍